

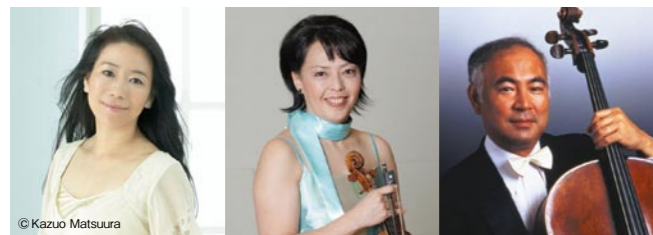
世界トップクラスの室内楽、そして《マタイ受難曲》も彩の国で

彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールは室内楽にも適し、様々な演奏会が行われてきた。ピアニスト・小山実稚恵が親しい仲間たちと作るアンサンブルで行う演奏会もそのひとつ。11月の演奏会「ピアノ・トリオ 夢の響演Ⅱ」では、ヴァイオリンの堀米ゆず子、チェロの堤剛を迎える。

ピアノ・トリオというのは室内楽の王様と呼ばれるように、ソリストが集まる場合がほとんどだ。今回の演奏会では、まずそれぞれのソロの演奏があり、後半にピアノ・トリオというプログラム。ソリストとしての魅力と、トリオとしての魅力をともに味わえるという贅沢なプログラムである。ピアノ・トリオ作品はブラームスの名作ピアノ三重奏の第1番。青年期のみずみずしい抒情に溢れた作品で、これをベテラン演奏家がどう表現するかも聴き所となるだろう。

2008年2月には、ベルリン・フィルの首席ヴァイオリン奏者として活躍中の清水直子がリサイタルを行う。ヴァイオリン奏者としては珍しく、フランクのヴァイオリン・ソナタをメインに据えたものだ。ヴァイオリンとは違う、少し低めで内省的な音を持つヴァイオラで、このソナタの新しい側面が表現されるに違いない。実力派ならではの選曲だ。

2008年3月にはバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)による《マタイ受難曲》の演奏会がある。毎年復活祭の時期に、欧米では「受難曲」が演奏されるが、日本でこの時期に「受難曲」が演奏されるようになったのは、BCJが積極的に取り上げて来たから。ピリオド楽器(バッハの時代の楽器と演奏スタイル)を取り入れたBCJの演奏は、いにしへの雰囲気を感じながら、同時に現代的でもある。604席の空間でBCJを聴くのも、また贅沢である。



小山実稚恵、堀米ゆず子、堤剛

ピアノの小山実稚恵、ヴァイオリンの堀米ゆず子、チェロの堤剛という、押しも押されぬ日本を代表する手たちが、この公演のために特別に組むアンサンブル。昨年の公演では、ベートーヴェンの「大公」とチャイコフスキーの「偉大なる芸術家の思い出」というピアノ三重奏曲の名曲を組み合わせたプログラムで聴衆を魅了した。



清水直子

桐朋学園大学でヴァイオリンを学んだ清水直子、江藤俊哉の各氏に、ヴァイオリンを岡田伸夫氏に師事。ヴァイオリンに転科し1993年研究科修了。94年よりデトモルト音楽大学で今井信子氏に師事。97年ミュンヘン国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門にて、パシュメット以来21年ぶりの第1位を受賞。2001年2月よりベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席ヴァイオリン奏者。その活躍ぶりは06年1月、毎日放送「情熱大陸」で取り上げられた。



バッハ・コレギウム・ジャパン

世界的なオルガン・チェンバロ奏者で東京藝術大学教授の鈴木雅明が、世界の第一線で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストを擁して1990年に結成したオーケストラと合唱団。特にJ.S.バッハの宗教作品を中心とするバロック音楽を理想的に上演・普及させることを主旨として演奏活動を行っており、バッハの教会カンタータ全曲シリーズをはじめとして録音も多数リリースし、国際的に高い評価を得ている。

小山実稚恵 ピアノ・トリオ 夢の響演Ⅱ

【日時】11月17日(土) 開演 14:00
 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
 【出演】小山実稚恵(ピアノ) 堀米ゆず子(ヴァイオリン) 堤剛(チェロ)
 【曲目】J.S. バッハ:バルティータ第2番 ハ短調 BWV826
 イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ト長調 Op.27-5
 カサド:無伴奏チェロ組曲
 ブラームス:ピアノ三重奏曲第1番 ロ長調 Op.8

【チケット(税込)】好評発売中
 一般:S席4,000円/A席3,000円/学生A席1,000円
 メンバーズ:S席3,600円/A席2,700円

清水直子 ヴィオラ・リサイタル

【日時】2008年2月2日(土) 開演 14:00
 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
 【出演】オズガー・アイディン(ピアノ)
 【曲目】シューマン:おとぎの絵本 Op.113
 ヒンデミット:ヴィオラとピアノのためのソナタ Op.25-4
 フランク:ヴィオラ・ソナタ 長調(原曲=ヴァイオリン・ソナタ)

【チケット(税込)】好評発売中
 一般:S席4,000円/A席3,000円/学生A席1,000円
 メンバーズ:S席3,600円/A席2,700円

バッハ・コレギウム・ジャパン バッハ《マタイ受難曲》

【日時】2008年3月20日(木・祝) 開演 15:00
 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
 【出演】J.S. バッハ:マタイ受難曲 BWV244
 【チケット(税込)】一般:S席8,000円/A席7,000円/学生A席2,000円
 メンバーズ:S席7,200円/A席6,300円
 【発売日】一般:12月1日(土) メンバーズ:11月24日(土)

オーケストラは 埼玉会館で



NHK交響楽団
 ~グリーグ没後100年・
 シベリウス没後50年記念~
 【日時】10月19日(金)
 【開演】19:00

東京文化会館と同じ設計者による、重厚なホールは1315席。埼玉でのクラシック音楽の伝統を築いてきたホールで、今後のオーケストラ公演への期待が高まる。

埼玉会館で行われるオーケストラの演奏会で注目されるのは、2008年1月のウィーン・リング・アンサンブルによる「ニューイヤー・コンサート」。新たな年を迎えて、ウィーンの香りを感じながら、一時、ゆったりと音楽に揺られるのは、お正月の過ごし方としては素敵なおものである。

埼玉会館では、10月にNHK交響楽団の演奏会が行われる他、在京オーケストラのメンバーが集まり、ランチタイムに気軽に楽しめるコンサートのシリーズも開催中。12月にも新日フィルのメンバーによる金管五重奏が行われる。

最高の聴き初め、ウィーン・リング・アンサンブル



ウィーン・フィルのトップメンバー9人によるグループ「ウィーン・リング・アンサンブル」は、まさにウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートの雰囲気そのままで小さなアンサンブルで再現する。毎年お正月にウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートが終わった後に日本を訪問して、常に楽しい演奏会を聴かせてくれる。コンサートマスターのライナー・キュッヒルを初めとして、弦楽器の他に、フルート、クラリネット、ホルンなどの管楽器も加えた編成である。

埼玉会館でのニューイヤー・コンサートでは、お馴染みのウィーンゆかりの作品が並んでいる。ワルツだけでなく、ニコライの《ウィンザーの陽気な女房たち》の序曲や、レハールのオペレッタ《メリー・ウィドウ》の曲など、歌劇作品も取り入れて、楽しい演奏会になりそうだ。新年の最初の演奏会に、ウィーンの雰囲気そのままを届けてくれるこのアンサンブルの演奏会を聞くというのは、なかなかオツなものである。

ウィーン・リング・アンサンブル

ウィーンの新市街を取り巻く美しい環境、"リング"にちなんで命名されたこのアンサンブルは、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の名コンサートマスター、ライナー・キュッヒルを中心として、ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ホルン各1とクラリネット2の9人編成。全員ウィーン・フィルの腕利き主要メンバーであり、彼らのウィーン情緒の薫り高い音楽は聴衆をこの上ない幸福感で満たしている。

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第3回 新日本フィルハーモニー交響楽団 メンバーによる金管五重奏

【日時】12月21日(金) 開演 12:10(終演予定12:50)
 【会場】埼玉会館 大ホール
 【出演】服部孝也・市川和彦(トランペット) 山口尚人(トロンボーン)
 井手詩朗(ホルン) 佐藤和彦(チューバ)
 【曲目】ピアポイント:ジングル・ベル アダム:オー・ホーリー・ナイト
 クリスマス・ソング・メドレー ほか
 【チケット(税込)】好評発売中
 全席指定1,000円

埼玉会館ニューイヤー・コンサート ウィーン・リング・アンサンブル

【日時】2008年1月5日(土) 開演 14:00
 【会場】埼玉会館 大ホール
 【曲目】ニコライ:歌劇《ウィンザーの陽気な女房たち》序曲
 ヨーゼフ・シュトラウス:天体の音楽
 J.シュトラウスII:ホルカ《狩》
 レハール:《メリー・ウィドウ》メドレー ほか
 【チケット(税込)】好評発売中
 一般:S席5,000円/A席4,000円/B席3,000円/学生B席1,500円
 メンバーズ:S席4,500円/A席3,600円/B席2,700円

誰もが自然に音楽と解け合える空間 光の庭プロムナード・コンサート(無料)



土曜日の昼下がり、光の降り注ぐ彩の国さいたま芸術劇場内「情報プラザ」で年10回開催している「光の庭プロムナード・コンサート」。劇場所有のポジティブ・オルガン(移動可能な1段鍵盤のパイプオルガン)と器楽や声楽とのアンサンブルを中心に開催している。11月は、劇場でお馴染みの「バッハ・コレギウム・ジャパン」などのアンサンブルやソロで活躍している今井奈緒子によるポジティブ・オルガン スペシャル・コンサート。

14:00 開演
 会場=彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ 入場無料

公演情報

- 11月10日(土) 今井奈緒子ポジティブ・オルガン スペシャル・コンサート
 【曲名】スウェーデン:「暁の星のいと美しきかな」による変奏曲 他
- 12月1日(土) 永瀬真紀(オルガン) & 横田揺子(クラリネット)
 【曲名】ケルル:カプリッチョ「かっこう」 他
- 2008年
 1月26日(土) 椎名雄一郎(オルガン) & 長瀬正典(サクソ)
 【曲名】A.マルテッロ:協奏曲 二短調 他
- 2月16日(土) 石丸由佳(オルガン) & 柴田恵梨子(トロンボーン)
 【曲名】ブラームス:装いせよ、わが愛する魂よ 他
- 3月29日(土) 吉田恵(オルガン) & 高橋節子(ソプラノ)
 【曲名】J.S. バッハ:カンタータ第47番より
 アリア「まことのキリスト者を名乗らんとする人は」 他



親子でピアノの秘密に触れよう! 『仲道郁代 ピアノものがたり』

ピアノの名曲をたっぷり味わい、おとなも子どもも楽しめるトークが付く「仲道郁代 ピアノものがたり」。昨年、埼玉会館で初めて開催し、「初めて聴く曲でも子どもと一緒に楽しめた」、「曲の紹介やピアノの話など、子どもがとて楽しんでいた」などの声が多く寄せられ、大好評だった。また、「実験コーナー」では、実際に舞台上で何人かにピアノを観察してもらい、客席の皆さんにはスクリーンでその様子をご覧いただく。

【日時】2008年3月22日(土) 開演 15:00 【会場】熊谷会館
 【チケット(税込)】
 一般:大人3,000円/子ども(3歳以上高校生以下)2,000円
 親子セット(大人1枚+子ども1枚)4,500円 メンバーズ:大人2,700円
 【発売日】一般:12月1日(土) メンバーズ:11月24日(土)



(写真は去年開催の様子より。photo:加藤英弘)